

中頭指導行政の基本方針
総括目標

最多・最大の最高を追求する中頭教育の創造

～地域に根ざし、共に子供の育ちを保障する、持続可能な潤いの「魅力ある学校」づくり～

育成をめざす資質・能力

- 実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」の習得
- 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成
- 学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養

国・県の施策

- 学習指導要領小・中学校解説（文部科学省）
- 新・沖縄県21世紀ビジョン基本計画（沖縄県）R4.5.15
- 沖縄県教育振興基本計画 R4～13
- 学校教育における指導の努力点（R5～R9年度版）
- 沖縄県キャリア教育の基本方針 令和2年
- 「自立した学習者育成プロジェクト（令和7年～9年）」
- 「問い」が生まれる授業サポートガイド（沖縄県教育委員会）
- 「キャリア教育」資料集 研究・報告書・手引き編（国立教育政策研究所）
- 沖縄県学力向上推進本部会議からの提言

重点目標

「個が光る」中頭の教育を共に創る
～誰一人取り残されない学びの保障～

重点事項

- 1 「わたったーわらびの学び」の保障
- 2 教職員の資質・能力の向上をめざす組織づくりの推進
- 3 カリキュラム・マネジメントを生かした自律的学校経営の推進

基本方針

- 1 児童生徒一人一人のキャリア発達を踏まえた支援を行う。
- 2 自主的、自発的な学習の促進（自立心・自律性の育成）を図る。
- 3 社会的・職業的自立の基盤となる資質・能力の焦点化と育成に務める。
- 4 キャリア教育の視点を踏まえた授業実践と振り返りを行う。

取組事項

- 1 特別活動を要としながら、各教科・各科目の特質に応じてキャリア教育の充実を図る。
- 2 身に付けさせたい「基礎的・汎用的能力」を構成する4つの能力の視点をふまえた、全体計画及び各教科等の年間学習指導計画を作成し実践する。
- 3 自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりできるように、学びのプロセスを記述し自己評価を行う「キャリア・パスポート」等を活用し、小中高12年間の学びの履歴をつなぐ。
- 4 日々の学習活動と社会とを関連つけた職場における体験活動の充実を図る。
- 5 生徒が自らの生き方を考え、主体的に進路を選択することができる力の育成を目指した計画的、継続的な進路指導の充実を図る。

令和6年度の状況

1. 「キャリア・パスポート」の取組状況
 - ・キャリアパスポートを活用した授業 小88%（83%）中75%（72%）
 - ・三者面談等での活用 小44%（42%）中52%（62%）
 - ※カッコ内はR5
 - ・小学校からのキャリアパスポートの活用 29%
2. 成果と課題
 - キャリアパスポートの活用が多様化
 - キャリアノート（スケジュール管理）等の充実
 - 職場体験活動や職業人講話など、多様な活動の実施。
 - 教職員のキャリア教育に関する研修の機会や内容の工夫改善
 - キャリアパスポートの効果的な活用（場面、方法などの工夫）
 - 保護者や地域とキャリア教育について情報や活動を共有し推進していくこと

重点取組

キャリア教育の視点を踏まえた教育課程編成と授業改善

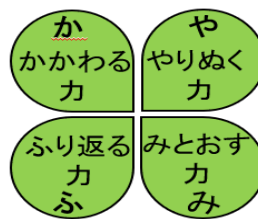
各学校で実践されている教育活動を、キャリア教育の視点で（「基礎的・汎用的能力」の4つの能力のフィルターを通して）捉え直す。（か・ふ・や・みの活用）

人間関係形成・社会形成能力

- 対話的な学び
- 他者とかわる力
- 伝え合う力
- 参画する力
- 協力する力 等

自己理解・自己管理能力

- めあて・まとめ・振り返り
- 改善につなげる力
- 自己の役割を理解する力
- 自分のよいところをみつめる力 等



課題対応能力

- 問いをもち主体的に学ぶ力
- 問いをたてる力
- 発想（想像）する力
- 実行する力
- 違いをおそれない力 等

キャリアプランニング能力

- 課題を追求し解決する力
- 将来を想像する力
- 目標を設定する力
- 次につなげる力 等

教職員の理解・指導力向上のための取組の充実

(1)実態の把握→(2)課題の明確化(基礎的・汎用的能力)→(3)キャリア教育の目標設定
→(4)社会的・職業的自立に向け、目の前の子供たちにとって必要な基盤となる資質・能力の明確化

R・P
実態把握・指導計画



授業・実践

振り返り・評価
授業改善

- ☐ 自校の児童生徒におけるキャリア発達上の課題，身に付けさせたい力や態度の明確な把握
- ☐ 保護者・地域の願い、教師の想い
- ☐ キャリア教育の目標設定
- ☐ 校内推進体制の構築
- ☐ 幼児児童生徒の学びをつなぐキャリア教育の視点を取り入れた教育課程の編成

- ☐ 学びの大切さに気付かせる機会、学ぶこと・働くことの意義について対話の機会の創出
- ☐ キャリア教育の視点を踏まえた日々の実践を通して自分らしい生き方を実現する力や態度を育む
- ☐ 一人一人の思いを大切に「キャリア・パスポート」を活用し、これまでの学び・育ちを振り返り、生涯にわたる自己のキャリア発達について見通す、語る場や機会の創出
- ☐ 学びのつながり、系統性を意識した体験的な活動や特別活動の充実
- ☐ 地域と協力・協働した職場体験活動の実施、充実
- ☐ 学校・家庭・地域・関係機関等との連携推進

- ☐ 各教科等の学習や学校生活の中で、「わかった」「できた」が実感できる活動を通して、児童生徒一人ひとりの成長を見取り、自己肯定感を高める積極的な声かけ
- ☐ 幼児児童生徒が主体的に学ぶ授業づくり、不断の授業改善、指導計画の見直し
- ☐ 多面的な見取りで子どものキャリア発達を支える評価と検証（児童生徒との共通理解）⇒改善へ

カリキュラム・マネジメントを生かした
自律的学校経営の推進
～「地域とともにある学校」づくり～

★幼・小・中・高各段階の「縦」の連携
★地域・家庭・企業等との「横」の連携

各学校の
取り組みを

しっかり

じっくり

たっぷり

をキーワードに

問い



対話

取り組みの共有・参考は

「わくとき なかがみ ポータルサイト」

